



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2024年8月11日(日) 9:30~12:00(快晴)

参加者 一般:5名

指導員:4名

テーマ 林の生き物

猛暑のせいか、盆休みのせいか人出が少なく、公園の駐車場はがら空き状態です。熱中症が心配なので、少しでも涼しい場所をと林の中のコースを回りました。

林の中ではマユタテアカネと、コナラの樹液が出ている所でシロテンハナムグリ、サトキマダラヒカゲ、コガタスズメバチが見られました。

林を出た所では、暑さで落葉したのかカツラの木の下に褐色の葉が散らばっていて、秋に落葉が発する甘い香りが漂っていました。(ちょっと季節が進んだ感じですね。)

本来ならクズの花が見られる季節なのですが、先月は多少咲いていたものの、この日はほとんど見られませんでした。

今回、一番見てもらいたかったものは大野極楽寺公園の林の中で咲くキツネノカミソリ(ヒガンバナ科)の花です。先月の観察会ではまだ花茎も見られませんでした、7月下旬には満開となり、この日まで花が残っているかと心配でした。さいわい、2株だけ花をつけていて、ほかは既に花茎の先に実をつけた状態でした。(ヒガンバナと違い、結実します。)

その横では、こちらも満開を過ぎたウバユリが見られました。ウバユリは138タワーパークの「もくもくパラダイス」の林の中でも、ほぼ満開状態で数株が花をつけていました。大きくは開かない花被の中を覗いてみると濃紫色の斑点が散らばっています。

ここでは、巨大ヌスビトハギといった感じのフジカンゾウが蕾を膨らませており、在来のヌスビトハギは咲き始めていました。隣り合って生えているアレチヌスビトハギは花までにはもう少し日数がかかりそうです。

エゴノキの葉の裏に華奢な蜂が15匹程集まっていました。帰って調べたところムモンホソアシナガバチと分かりました。こんな時期に一族前って引っ越しの途中なのでしょう。

セミの声は4種(クマゼミ、アブラゼミ、ニイニゼミ、ツクツクボウシ)が聞かれましたが、気温が高すぎるのかチョウやトンボの出現数は少なめでした。この夏の猛暑はヒト以外の生き物たちにもいろいろな影響を及ぼしているのでしょうか。(報告:齋竹)

<その他観察できたもの>

花:ツルドクダミ、サルスベリ、ブタナ、ヘクソカズラ、ムラサキツメクサ、ツユクサ、ヤブミョウガ、イワダレソウ、ミソハギ、ノカンゾウ、オミナエシ、キキョウ、ツリガネニンジン、オカトラノオ、ダイコンソウ、アメリカミズキンバイ、ナガバオモダカ

鳥:キジバト、ヒヨドリ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス、コゲラ(声)、

虫:ナミアゲハ、ナガサキアゲハ、アオスジアゲハ、キタキチョウ、ツバメシジミ、イチモンジセセリ、ショウリョウバッタ、オンブバッタ、マルカメムシ、シタベニハゴロモ、外来アミガサハゴロモ、キマダラカメムシ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ、ヨツスジトラカミキリ、オオヒラタシデムシ、フタモンアシナガバチ、ヒガシキリギリス(声)、エンマコオロギ(声)



(フジカンゾウを観察中)



残っていたキツネノカミソリ



ウバユリの花の中は?



林の中のマユタテアカネ



ムモンホソアシナガバチ一家?